

## 特集：2005年度日本数学会出版賞受賞者のことば

楠葉隆徳氏，林隆夫氏，矢野道雄氏

今回の受賞の対象になった『インド数学研究』は，今から600年ほど前に南インドで起こり，おおそ200年ほど続いたレベルの高い数学をなんとか現代的に解釈しようとしたものです．600年前のその学者はさらに1000年ほど前の学者を意識していました．わたしたちの研究も数十年後あるいは百年後の読者を意識していたので，まさかこんなに早く高い評価を受けるとは夢にも思っていませんでした．

この本はアメリカのブラウン大学大学院数学史科へ留学した三人の長年の共同研究の成果であり，受賞は共通の師であるピングリー教授に対する恩返しにもなりました．そのピングリー教授が今年退職されると同時に，ノイゲバウアー教授によって創設された世界ただ一つの「数学史」専攻大学院がおよそ60年でその幕を閉じることになったのは残念です．人類の知的遺産が，国籍に関わりなく継承されていくことを願っています．

矢野道雄（京都産業大学文化学部教授）